

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 顧客が情報ネットワークを通してアクセスしてきたときに、当該顧客のコンピュータに対して必要な諸情報を入力させる申込用画面を表示させ、顧客が入力した諸情報を受け付けたときに、あらかじめ決められている所定の申込書類様式の該当欄に受け付けた諸情報を入力して申込書類を完成させ所定様式の申込書類として印刷すると共に、受け付けた諸情報に基づき個人信用情報照会機関へスコアリング要求を並行して発信し、

前記個人信用情報照会機関からのスコアリング結果をデータベースに登録し、

顧客が署名又は捺印した前記申込書類に対してクレジットカード発行の許可・不許可の審査において、前記データベースに登録されたスコアリング結果を参照することを特徴とするオンラインクレジットカード発行方法。

【請求項2】 前記申込用画面に対して顧客が必要情報を入力したときに不足及び間違い情報をチェックし、顧客に再入力及び補充入力を促すことを特徴とする請求項1に記載のオンラインクレジットカード発行方法。

【請求項3】 顧客が署名又は捺印した前記申込書類のイメージエントリを行い、当該イメージデータと前記データベースに登録されているスコアリング結果とを紐付けし、ファイルサーバに登録することを特徴とする請求項1又は2に記載のオンラインクレジットカード発行方法。

【請求項4】 顧客の情報ネットワークを通じたアクセスに対して、アクセス元のコンピュータに対して必要な諸情報を入力させるための申込用画面を表示させるウェブページを配信し、顧客が入力した諸情報を受け付けるウェブ管理手段と、

前記ウェブ管理手段が受け付けた顧客からの諸情報を、あらかじめ決められている所定の申込書類様式の該当欄に入力して申込書類を完成させ所定様式の申込書類として印刷する起票手段と、

前記ウェブ管理手段が受け付けた顧客からの諸情報に基づき個人信用情報照会機関へスコアリング要求を発信し、前記個人信用情報照会機関からのスコアリング結果を保持するスコアリング処理手段と、

顧客が署名又は捺印した前記申込書類に対して、前記スコアリング処理手段に保持されている該当顧客のスコアリング結果を参照してクレジットカード発行の許可・不許可の審査する審査手段とを備えて成るオンラインクレジットカード発行システム。

【請求項5】 前記ウェブ管理手段は、前記申込用画面に対して顧客が必要情報を入力したときに不足及び間違い情報をチェックし、顧客に再入力及び補充入力を促す機能を備えたことを特徴とする請求項4に記載のオンラインクレジットカード発行システム。

【請求項6】 顧客が署名又は捺印した前記申込書類の

イメージエントリを受け付け、当該イメージデータと前記スコアリング結果とを紐付けして登録するファイリング手段を備えたことを特徴とする請求項4又は5に記載のオンラインクレジットカード発行システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、オンラインクレジットカード発行方法及び発行システムに関する。

## 【0002】

10 【従来の技術】一般に、顧客からの申込みにより新規クレジットカードを発行する場合、クレジットカード会社から金融機関届出印が捺印された口座振替依頼書を金融機関に送付する必要がある、カード申込書と口座振替依頼書の原紙が必要となり、これがなければクレジットカードを発行することができない。このため、従来クレジットカード発行業務は、顧客に店頭で申込書及び口座振替依頼書に記入し捺印の上で提出させるか、顧客が自宅で申込書及び口座振替依頼書に記入し捺印させて郵送で受け付けるかするのが一般的である。

## 20 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このようなクレジットカード発行受付方式では、記入漏れがあった場合に電話による確認作業が必要になってきて処理効率が悪い問題点があった。

30 【0004】また最近では、顧客に対して自身のパーソナルコンピュータからインターネットを利用して自社のウェブページにアクセスさせ、オンラインでクレジットカードの申込受付を行えるようにしているクレジットカード会社が大部分である。このインターネットを利用したクレジットカードのオンライン申込受付方式では、顧客がウェブページに対して入力した諸情報をクレジットカード会社側で規定の申込書及び口座振替依頼書に印刷して申込者宛に送付し、必要項目をさらに記入させて必要箇所に捺印させて返送させる。そしてこの申込顧客からの捺印済みの申込書及び口座振替依頼書がクレジットカード会社に届いてから、通常の個人情報の照会その他の審査手続きを行い、審査に通ればクレジットカードを発行するという手順を踏む。このため、オンライン申込受付でも、顧客の申込手続きからクレジットカード発行までに無事故の顧客の場合でも約3週間を要していて、オンライン申込みによる時間短縮が図れないばかりか、かえって、クレジットカード発行のために通信費が通常の手続きよりも嵩むことになりかねない問題点があった。

【0005】本発明はこのような従来の問題点に鑑みてなされたもので、情報ネットワークを利用したオンラインによるクレジットカード発行の申込手続きから実際のクレジットカード発行までの処理時間が短縮できるオンラインクレジットカード発行方法及び発行システムを提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明のオンラインクレジットカード発行方法は、顧客が情報ネットワークを通してアクセスしてきたときに、当該顧客のコンピュータに対して必要な諸情報を入力させる申込用画面を表示させ、顧客が入力した諸情報を受け付けたときに、あらかじめ決められている所定の申込書類様式の該当欄に受け付けた諸情報を入力して申込書類を完成させ所定様式の申込書類として印刷すると共に、受け付けた諸情報に基づき個人信用情報照会機関へスコアリング要求を並行して発信し、前記個人信用情報照会機関からのスコアリング結果をデータベースに登録し、顧客が署名又は捺印した前記申込書類に対してクレジットカード発行の許可・不許可の審査において、前記データベースに登録されたスコアリング結果を参照することを特徴とするものである。

【0007】請求項1の発明のオンラインクレジットカード発行方法では、クレジットカード会社が例えばインターネットのような情報ネットワーク上にクレジットカード申込用のウェブページを開いておき、顧客が自身のコンピュータからこのウェブページにアクセスしてきたときには、必要な諸情報を入力させる申込用画面を表示して、諸情報を入力するように促す。

【0008】そして顧客が必要な諸情報を申込用画面から入力すればそれを受け付け、例えばクレジットカード申込書及び口座振替依頼書のようなあらかじめ決められている申込書類様式の該当欄に受け付けた諸情報を入力して申込書類を完成させ、正式の申込書類として印刷し、申し込んだ顧客に署名又は捺印のために発送する。これと並行して、受け付けた諸情報に基づき個人信用情報照会機関へスコアリング要求を発信し、個人信用情報照会機関からスコアリング結果が得られるとこれをデータベースに登録する。

【0009】そして顧客から署名又は捺印済みの申込書類が返送されてくれば、クレジットカード発行の許可・不許可の審査において、前記データベースに登録されたスコアリング結果を参照して判定し、発行許可であればクレジットカード発行手続をとる。

【0010】こうして、顧客に対して署名又は捺印のために申込書類を発送している間に、並行して個人信用情報照会機関に対してスコアリングを行い、そのスコアリング結果をデータベースに登録しておくことにより、顧客から署名又は捺印された申込書類が返送されてきたときには直ちに、データベースに登録されているスコアリング結果を参照してクレジットカード発行の許可・不許可を審査し、早期にクレジットカードを発行する。

【0011】請求項2の発明は、請求項1のオンラインクレジットカード発行方法において、前記申込用画面に対して顧客が必要情報を入力したときに不足及び間違い情報をチェックし、顧客に再入力及び補充入力を促すこ

とを特徴とするものであり、顧客によるオンラインでの諸情報の入力の際に入力間違いや不足を正し、必要な情報を過不足なく、正確に入力させて、これに続く申込手続きを円滑化する。

【0012】請求項3の発明は、請求項1又は2のオンラインクレジットカード発行方法において、顧客が署名又は捺印した前記申込書類のイメージエントリを行い、当該イメージデータと前記データベースに登録されているスコアリング結果とを紐付けし、ファイリング手段に登録することを特徴とするものであり、顧客の署名又は捺印が行われている完全な申込書類のイメージデータと当該顧客の個人信用情報のスコアリング結果とを電子情報として保存することにより、後に必要になった時に倉庫に保管されている紙の申込書類を取り出さなくても、電子情報によって必要な確認を行う。

【0013】請求項4の発明のオンラインクレジットカード発行システムは、顧客の情報ネットワークを通じたアクセスに対して、アクセス元のコンピュータに対して必要な諸情報を入力させるための申込用画面を表示させるウェブページを配信し、顧客が入力した諸情報を受け付けるウェブ管理手段と、前記ウェブ管理手段が受け付けた顧客からの諸情報を、あらかじめ決められている所定の申込書類様式の該当欄に入力して申込書類を完成させ所定様式の申込書類として印刷する起票手段と、前記ウェブ管理手段が受け付けた顧客からの諸情報に基づき個人信用情報照会機関へスコアリング要求を発信し、前記個人信用情報照会機関からのスコアリング結果を保持するスコアリング処理手段と、顧客が署名又は捺印した前記申込書類に対して、前記スコアリング処理手段に保持されている該当顧客のスコアリング結果を参照してクレジットカード発行の許可・不許可の審査する審査手段とを備えたものである。

【0014】請求項4の発明のオンラインクレジットカード発行システムでは、ウェブ管理手段により、顧客の情報ネットワークを通じたアクセスに対して、アクセス元のコンピュータに対して必要な諸情報を入力させるための申込用画面を表示させ、顧客が入力した諸情報を受け付け、起票手段によりウェブ管理手段が受け付けた顧客からの諸情報を、あらかじめ決められている所定の申込書類様式の該当欄に入力して申込書類を完成させ、正式の申込書類として印刷する。この印刷された申込書類は、クレジットカード会社から申込みを行った顧客に対して発送し、署名又は捺印の上返送させる。これと並行して、スコアリング処理手段により、顧客から署名又は捺印された申込書類が返送されてくるまでの期間中に、顧客が入力した諸情報に基づき個人信用情報照会機関へスコアリング要求を発信し、そのスコアリング結果が送られてくれば保持しておく。そして、顧客から署名又は捺印した申込書類が返送されてくれば、審査手段により、スコアリング処理手段に保持されている該当顧客の

スコアリング結果を参照してクレジットカード発行の許可・不許可を審査し、支障がなければクレジットカードを発行する。

【0015】こうして、請求項4の発明のオンラインクレジットカード発行システムを使用することにより、請求項1の発明のオンラインクレジットカード発行方法を実施し、顧客に対して署名又は捺印のために申込書類を送付している間に、並行して個人信用情報照会機関に対してスコアリングを行い、そのスコアリング結果をデータベースに登録しておくことにより、顧客から署名又は捺印された申込書類が返送されてきたときには直ちに、データベースに登録されているスコアリング結果を参照してクレジットカード発行の許可・不許可を審査し、早期にクレジットカードを発行する。

【0016】請求項5の発明は、請求項4のオンラインクレジットカード発行システムにおいて、前記ウェブ管理手段が、前記申込用画面に対して顧客が必要情報を入力したときに不足及び間違い情報をチェックし、顧客に再入力及び補充入力を促す機能を備えたことを特徴とするものであり、顧客によるオンラインでの諸情報の入力の際に入力間違いや不足を正し、必要な情報を過不足なく正確に入力させ、これに続く申込手続きを円滑化する。

【0017】請求項6の発明は、請求項4又は5のオンラインクレジットカード発行システムにおいて、さらに、顧客が署名又は捺印した前記申込書類のイメージエントリーを受け付け、当該イメージデータと前記スコアリング結果とを紐付けして登録するファイリング手段を備えたことを特徴とするものであり、顧客の署名又は捺印が行われている完全な申込書類のイメージデータと当該顧客の個人信用情報のスコアリング結果とを電子情報として保存することにより、後に必要になった時に倉庫に保管されている紙の申込書類を取り出さなくても、電子情報によって必要な確認を行う。

【0018】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図に基づいて詳説する。図1は本発明の1つの実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムのシステム構成を示している。端末1は、クレジットカードの発行を申し込もうとする顧客が使用するパソコンのようなコンピュータである。ホストコンピュータ2は、カード発行業務の中枢をなすもので、個人信用情報照会機関100への照会手続も行なう。ウェブサーバ3は、顧客が端末1より登録した個人情報をインターネット20を介して受信し、ホストコンピュータ2と起票端末4へ送信する。起票端末4は、ウェブサーバ3から受信したコードデータを規定の申込書及び口座振替依頼書のような申込書類をプリンタ5により印刷して出力する。なお、ウェブサーバ3～プリンタ5を含むウェブシステム200の中には、ファイアウォールのようなセキュリティを設

定し、個人情報への外部からの不正アクセスを遮断する仕組みが組み込まれているが、ここでは詳述せず、特徴的な機能のみについて説明する。

【0019】審査センターシステム300におけるOCR端末6、OCRサーバ7、ファイリングサーバ8、審査サーバ9、審査端末10、修正端末11はクレジットカード発行業務を実際に行うためのハードウェアであり、ここでは、クレジットカード会社内に設置されているものとする。OCR端末6は、顧客が記入、捺印して返送してきた申込書及び口座振替依頼書のような申込書類のイメージエントリーを行う。このイメージエントリーしたイメージデータはOCRサーバ7に保存される。ファイリングサーバ8は、審査センター業務の中枢であり、各種データの保存、ホストコンピュータ2との通信を行う。審査サーバ9では、ファイリングサーバ8から取得した審査対象データを保存しており、このデータをもとに審査端末10で審査業務を行う。修正端末11は、ファイリングサーバ8に別々に登録されたイメージデータとスコアリング結果とをコードデータにより紐付けする。

【0020】次に、上記の構成のオンラインクレジットカード発行システムによるオンラインクレジットカード発行方法を説明する。図2はオンラインカード発行システムによるオンラインカード発行処理のフローチャートである。図1のシステムのハードウェア構成と図2のフローチャートを用いて、本システムによるオンラインカード発行方法について説明する。

【0021】(i)の処理では、インターネット20を介して、顧客端末1のクレジットカード申込ウェブページから登録された個人情報をウェブサーバ3に送信する。ウェブサーバ3は顧客端末1からインターネット20を通して送られてきた個人情報をコードデータにして受信し、起票端末4に転送すると共に(i-ii)、並行してホストコンピュータ2にも転送する(ii-ii)。なお、続く(i-ii)～(i-viii)の処理と(ii-ii)～(ii-v)の処理とは、並行して実行される。

【0022】(i-ii)の処理で起票端末4はウェブサーバ3から個人情報のコードデータを受信すると、そのコードデータをプリンタ5によって規定の申込書及び口座振替依頼書のような申込書類に印刷して出力する(i-ii)。この印刷出力された申込書類は原紙であり、顧客に送付される(i-iv)。そして顧客は、受け取った申込書類に対し必要な事項を記入し、捺印して審査センターに郵送する(i-v)。

【0023】審査センターの審査センターシステム300においては、顧客から記入、捺印済みの申込書類を原紙とし、OCR端末6によってイメージエントリーを行い、その後に申込書類のうちの口座振替依頼書は金融機関400に送付され、申込書はクレジットカード会社の倉庫500に保管される(i-vi)。OCR端末6によって

読み取られたイメージデータはOCRサーバ7に送信されて保存され(i-vii)、さらにファイリングサーバ8に登録される(i-viii)。

【0024】一方、(ii-ii)の処理でホストコンピュータ2はウェブサーバ3から個人情報のコードデータを受信すると、個人信用情報照会機関100に対して送信し、スコアリング要求を行う(ii-iii)。個人信用情報照会機関100はスコアリング要求に対し、通常は2、3日のうちにホストコンピュータ2に対してスコアリング結果を返信する(ii-iv)。ホストコンピュータ2はスコアリング結果を受信すると、審査センターシステム300のファイリングサーバ8にスコアリング結果であるスコアリングデータを送信する(ii-v)。

【0025】ファイリングサーバ8では、(ii-v)の処理でホストコンピュータ2からスコアリングデータを受信するとデータベースに登録し、(i-viii)の処理によりOCRサーバ7から申込書類のイメージデータがエントリーされるまで待機する。

【0026】並行して行われる上記の(i-ii)～(i-vii)の処理と(ii-ii)～(ii-v)の処理が完了したところで、修正端末11は、(ix)でファイリングサーバ8に蓄積されたイメージデータを順に表示し、キー情報をもとにしてスコアリングデータの検索を行なうことにより、端末11に表示されている申込書類のイメージを参照しながらスコアリングデータとの紐付けを行う。紐付けが完了したデータは、(x)で再度ファイリングサーバ8に登録し、このファイリングサーバに接続された外部記憶装置により長期保存する。

【0027】この後、(xi)でファイリングサーバ8は紐付け完了データを審査サーバ9に送信し、さらに(xii)において審査端末10がこのデータを取得して必要な審査業務を行い、新規クレジットカードの発行許可・不許可を判断する。

【0028】このようにして、本実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムによるオンラインクレジットカード発行方法では、ウェブシステムから顧客宛に申込書類の原紙が送付され、その翌日に顧客が記入、捺印後の原紙を審査センターシステム宛に返送した場合には、コードデータのスコアリングとほぼ同じかやや長い程度の時間を要することになるため、上記(i-ii)～(i-viii)の処理と(ii-ii)～(ii-v)の処理との並行作業により、カード発行時間を短縮することができる。

【0029】また、本実施の形態によれば、前述したように店頭記入や郵送で受け付けた申込書及び口座振替依頼書のような申込書類からカードを発行する場合には、必須項目がすべて記入されているか否かをチェックし、不備があった場合には申込者本人に電話をかけて内容を確認する必要があったが、オンライン受付の場合には顧客が個人情報を登録するウェブページの登録画面上で、必須項目のすべてに正しく入力するまで登録完了できな

い仕組みや登録内容確認画面の表示により注意を喚起する等の工夫をすることにより、審査時に必要となる情報の記入漏れを防止することができる。

【0030】さらに、本実施の形態によれば、ウェブページから登録されるコードデータと後から到着する申込書及び口座振替依頼書のような申込書類の原紙のイメージデータとを紐付けしてから長期保存することにより、イメージエントリー以降、顧客データの照会などを行う場合に申込書の原紙を倉庫から探し出すことなくデータを参照することができ、業務効率の向上を図ることができる。

【0031】次に、本発明の別の実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムについて、図3及び図4を用いて説明する。第2の実施の形態は、例えばコンビニエンスストアのようなクレジットカード会社と提携している店舗に設置されているキオスク端末や専用端末のような店舗端末21を利用して顧客がクレジットカードの申込を行えるようにしたオンラインクレジットカード発行システムを特徴とする。なお、図3及び図4に示した第2の実施の形態において、図1及び図2に示した第1の実施の形態と共通する要素については、共通する符号を用いて示してある。

【0032】この第2の実施の形態の場合、顧客が自宅のコンピュータ端末1からオンライン申込を行うのではなく、店舗端末21により申込手続きを行うので、第1の実施の形態で必要であった起票端末4は必要ではなく、代りに店舗端末21に直接にプリンタ5を接続することにより、手続き完了後には直ちにこのプリンタ5から顧客の入力した諸情報が記入された申込書類(例えば申込書及び口座振替依頼書)が印刷出力される。

【0033】次に、第2の実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムを使用したオンラインクレジットカード発行方法について説明する。

【0034】図4のフローチャートにおいて、(i-i)～(i-vi)の処理と(ii-i)～(ii-v)の処理とは並行して実行される。顧客が店舗端末21によりオンラインクレジットカード発行の申込手続きのウェブ画面を展開し、このウェブ画面から必要な個人情報を入力すると、(i-i)の処理で、この入力された個人情報に基づき、店舗端末21が直接プリンタに必要な申込書類、すなわち規定の申込書と口座振替依頼書の様式の必要な箇所に該当するデータを入力した完全な形の申込書及び口座振替依頼書としてのコードデータを送信し、プリンタ5から印刷出力させる。顧客は印刷出力された申込書類を原紙として持ち帰り、必要箇所に記入、捺印を行った後、その申込書類を審査センターに郵送する(i-ii、i-iii)。

【0035】審査センターの審査センターシステム300においては、顧客から送られてきた記入、捺印済みの申込書類を原紙とし、これに対して以降、第1の実施の形態と同様、OCR端末6によってイメージエントリー

を行い、その後に申込書類のうちの口座振替依頼書は金融機関400に送付され、申込書はクレジットカード会社の倉庫500に保管される(i-iv)。OCR端末6によって読み取られたイメージデータはOCRサーバ7に送信されて保存され(i-v)、さらにファイリングサーバ8に登録される(i-vi)。

【0036】一方、(ii-i)の処理で店舗端末21からウェブシステム200のウェブサーバ3に対して個人情報のコードデータを送信する。ウェブサーバ3は受信した個人情報のコードデータをホストコンピュータ2に転送する(ii-ii)。そしてホストコンピュータ2は、個人情報照会機関100に対して受信した個人情報を送信し、スコアリング要求を行う(ii-iii)。個人情報照会機関100はスコアリング要求に対し、スコアリング結果をホストコンピュータ2に返信する(ii-iv)。ホストコンピュータ2はスコアリング結果を受信すると、審査センターシステム300のファイリングサーバ8にスコアリング結果であるスコアリングデータを送信する(i-v)。

【0037】ファイリングサーバ8では、(ii-v)の処理でホストコンピュータ2からスコアリングデータを受信するとデータベースに登録し、(i-vi)の処理によりOCRサーバ7から申込書類のイメージデータがエントリ一されるまで待機する。

【0038】並行して行われる上記の(i-i)～(i-vi)の処理と(ii-i)～(ii-v)の処理が完了したところで、修正端末11は、(vii)でファイリングサーバ8に蓄積されたイメージデータを順に表示し、キー情報をもとにしてスコアリングデータの検索を行なうことにより、端末11に表示されている申込書類のイメージを参照しながらスコアリングデータとの紐付けを行う。紐付けが完了したデータは、(viii)で再度ファイリングサーバ8に登録し、このファイリングサーバに接続された外部記憶装置により長期保存する。

【0039】この後、(ix)でファイリングサーバ8は紐付け完了データを審査サーバ9に送信し、さらに(x)において審査端末10がこのデータを取得して必要な審査業務を行い、新規クレジットカードの発行許可・不許可を判断する。

【0040】このようにして、第2の実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムによるオンライン

クレジットカード発行方法では、店舗端末により顧客が必要な個人情報を入力したならばその場で申込書類の原紙を受け取ることができ、当日に顧客が記入、捺印後の原紙を審査センターシステム宛に返送した場合には、コードデータのスコアリングよりも短い時間で記入、捺印された申込書類が審査センターシステムに到着することになるため、上記(i-i)～(i-vi)の処理と(ii-i)～(ii-v)の処理との並行作業により、カード発行時間をいっそう短縮することができる。

【0041】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、情報ネットワークを利用したオンラインによるクレジットカード発行の申込手続きから実際のクレジットカード発行までの処理時間が短縮できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムのシステム構成図。

【図2】上記の実施の形態を使用したオンラインクレジットカード発行方法の説明図。

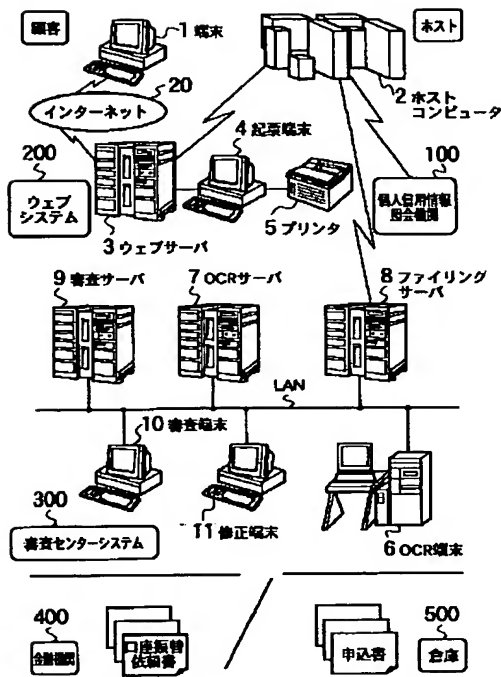
【図3】本発明の第2の実施の形態のオンラインクレジットカード発行システムのシステム構成図。

【図4】上記の実施の形態を使用したオンラインクレジットカード発行方法の説明図。

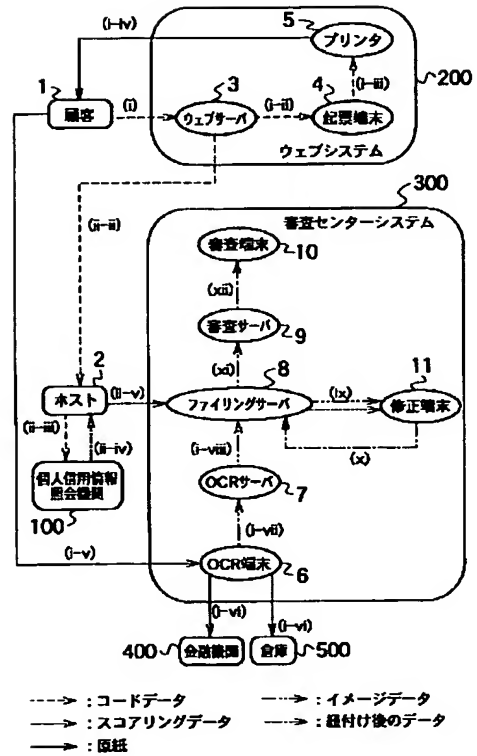
【符号の説明】

- 1 顧客端末
- 2 ホストコンピュータ
- 3 ウェブサーバ
- 4 起票端末
- 5 プリンタ
- 6 OCR端末
- 7 OCRサーバ
- 8 ファイリングサーバ
- 9 審査サーバ
- 10 審査端末
- 11 修正端末
- 21 店舗端末
- 100 個人情報照会機関
- 200 ウェブシステム
- 300 審査センターシステム
- 400 倉庫
- 500 金融機関

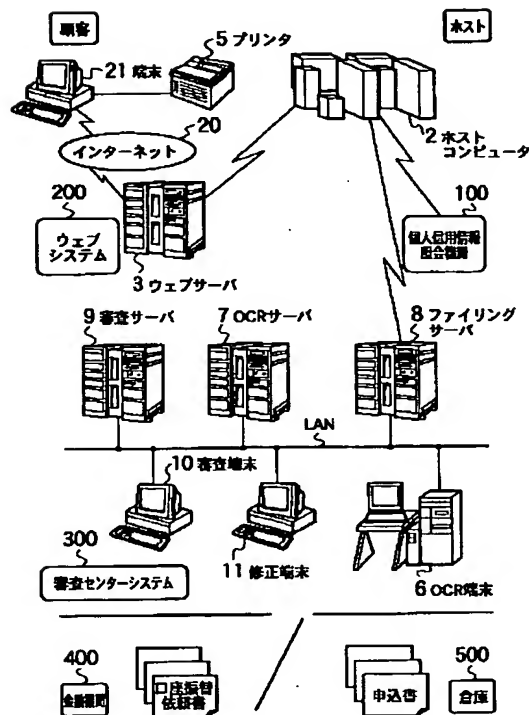
【図1】



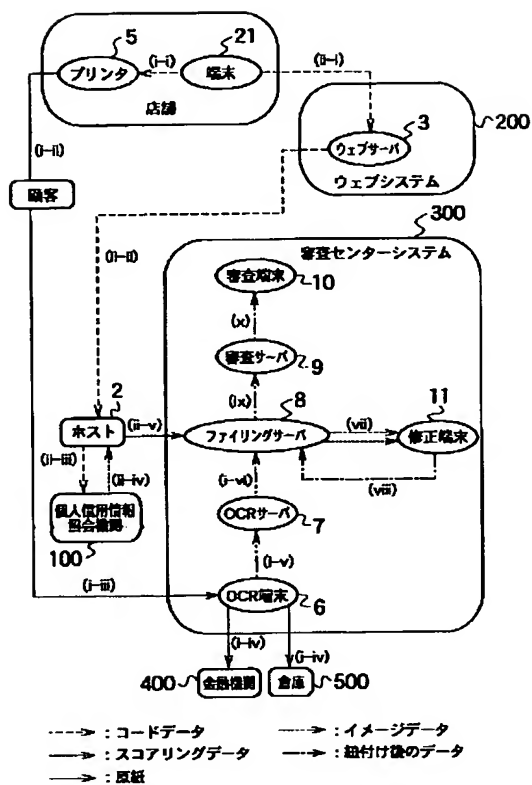
【図2】



【図3】



【図4】



(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ノート (参考)
G 0 6 F 17/60	5 1 0	G 0 6 F 17/60	5 1 0
		3/12	M
// G 0 6 F 3/00	6 5 1	3/00	6 5 1 A